

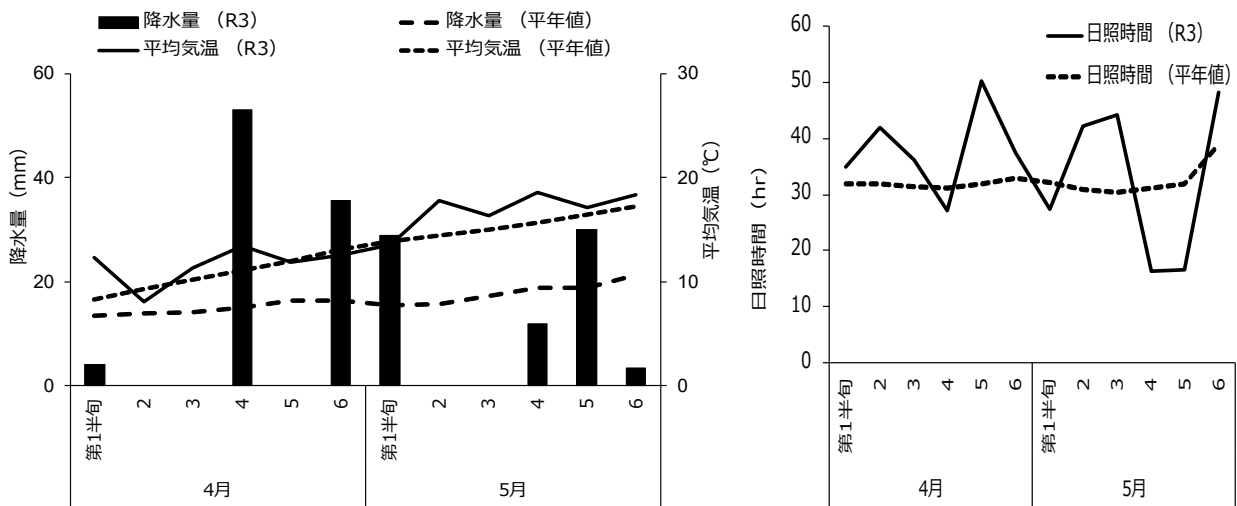
仙台稲作情報2021（第3号）

宮城県仙台農業改良普及センター TEL：022-275-8410 FAX：022-275-0296
<http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai> E-mail：sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

栽培管理のポイント

- ▷適正な水管理で、分けつの発生を促進させましょう。
- ▷雑草の発生状況を確認し、防除が遅れないようにしましょう。
- ▷いもち病の発生源となる補植用残苗は速やかに処分しましょう。

1 気象経過



2 管内の播種・田植の状況

・播種

概ね天候に恵まれ、「盛期」は平年より2日早く4月10日となりました。苗立枯病等病害の発生は少なく生育は順調でしたが、ばか苗病が散見されました。

・田植

風の強い日がありましたが、概ね天候に恵まれて田植作業は順調に進み、平年より1日早い5月9日に「盛期」となりました。強風時に田植作業を実施したほ場では植え傷みや浮き苗が見られました。

管内の播種及び田植状況

管内全体	播 種			田 植		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
本 年	4/3	4/10	4/25	5/3	5/9	5/23
前年差	1日早い	2日早い	1日遅い	前年並	1日早い	1日早い
平年差	1日早い	2日早い	3日遅い	平年並	1日早い	1日遅い

※「始期」は作付見込み面積の5%、「盛期」は50%、「終期」は95%が進行した時期

※「平年差」は前5力年の平均値との差

3 管内の生育状況

- ・「ひとめぼれ」は草丈が23.7cm（前年比125%）、莖数102.4本/m²（同129%）となっており、順調な生育となっています。
- ・「だて正夢」は草丈が23.1cm（前年比117%）、莖数が79.8本/m²（同95%）となっており、「ひとめぼれ」同様、順調な生育です。
- ・田植時の強風により植え傷みが発生したほ場では、活着の遅れが見られました。

品 種	地 帯	場 所	田植日	草丈 (cm)			莖数 (本/m ²)		
				本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市宮城野区岡田	5月15日	24.2	135	96	85.1	122	120
	北部平坦	大郷町鶉崎	5月12日	22.9	122		87.5	111	
	西部丘陵	仙台市泉区福岡	5月13日	24.0	117	108	134.5	155	133
	管内平均			23.7	125	102	102.4	129	126
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市若林区荒井	5月11日	29.2	156	109	73.7	94	103
だて正夢	北部平坦	大郷町土橋	5月14日	24.9	126	121	79.5	92	101
	仙台湾沿岸	仙台市若林区三本塚	5月18日	21.2	107		80.0	97	
	管内平均			23.1	117	121	79.8	95	101

※平年比差は平成30年から令和2年までの3か年平均

4 本田管理

移植栽培

(1) 水管理

- ・田面が露出しているほ場があります。水深2～3cmの浅水として水温・地温の上昇を図り、分げつの発生を促進させましょう。
- ・「だて正夢」は、莖数が確保しにくい品種です。適正な水管理で分げつを促進させましょう。
- ・低温（平均気温が概ね14℃以下）の時は、水深5～6cmの深水としましょう。
- ・生わらなど有機物を施用したほ場では、時々落水して土中への酸素供給とガス抜きを行い、根腐れを防止しましょう。
- ・中干しは、根の活力の向上、無効分げつの発生抑制、作土層の硬化促進などの効果があります。有効莖数を確保したら早めに実施しましょう。

(2) 病害虫防除

①いもち病

- ・補植用残苗が残るほ場が散見されます。本田でのいもち病の発生源になりますので、補植後は裏返す等、直ちに処分しましょう。
- ・飼料用米など箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、6月中下旬に水面施用剤を散布しましょう。
- ・「金のいぶき」はいもち病に非常に弱い品種なので、箱施用剤に加え水面施用剤による2回防除（6月中下旬及び7月中下旬）を必ず実施しましょう。
- ・アメダスデータを基に葉いもち感染好適日を推定するシステムモデル「BLASTAM（ブラスタム）」が病害虫防除所のサイトで5月20日から公開されていますのでご活用ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>

②イネドロオイムシ・イネミズゾウムシ

- ・病害虫防除所発表の発生予報第3号によると、発生量は「やや多い」と予報されています。
- ・稲が小さいうちに加害されると被害が大きくなるため、箱施用剤を使用しなかった場合は、移植後に以下の要防除密度に達したら防除を行いましょう。

【要防除密度】

イネドロオイムシ 成虫密度が100株当たり25頭または産卵最盛期（6月上旬予想）の卵塊密度が100株当たり80個

イネミズゾウムシ 畦畔際2m程度の成虫密度が100株当たり140頭

(3) 雑草防除

- ・残草がある場合、雑草の種類、除草剤の散布期限（ノビエの葉齢や収穫前日数）を確認し、中・後期剤の使用を検討しましょう。
- ・水田内のヒエやホタルイ類の雑草が目立つほ場があります。これらの雑草は稲の出穂前にカメムシ類を水田に呼び寄せます。葉齢を確認し、適切な剤を適期に散布しましょう。
- ・斑点米カメムシ類の発生を抑制するため、6月中旬までに休耕田や土手・畦畔等の除草に努めましょう。

湛水直播栽培

(1) 雑草防除

- ・雑草が繁茂しているほ場があります。ほ場の残草状況を確認し、必要に応じて中・後期剤の使用を検討しましょう。

(2) 水管理

- ・本葉4葉期に7日間程度、落水状態（亀裂入る直前）にすることで、倒伏が軽減されます。
- ・湛水直播栽培では、播種深度が浅く、転び型倒伏が発生しやすいので、徹底した中干しが必要です。目標穂数の80%が確保された頃を目安に中干しを実施し、土壌を硬化させ株元の支持力を強化させましょう。

5 東北地方の向こう1か月の天候の見通し（5/27仙台管区气象台発表）

予報のポイント

- 期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- 平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

■農薬危害防止運動が始まりました（令和3年6月1日から令和3年8月31日まで）

- ・ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認しましょう。
- ・散布後には農薬の使用履歴を記帳しましょう。
- ・最新の農薬登録情報は、農林水産省消費安全技術センターのホームページで確認することができます。

■令和3年春の農作業安全確認運動実施中（令和3年4月1日から令和3年6月30日まで）

運動スローガン 「見直そう！農業機械作業の安全対策」

死亡事故の発生割合が高い乗用型の農業機械の作業におけるシートベルト・ヘルメットの着用徹底など一層の事故防止に取り組みましょう。

6月10日の生育調査結果は、6月11日に仙台農業改良普及センターホームページに掲載しますのでご覧ください。（稲作情報の発行はありません）
次回の稲作情報第4号は、6月21日に実施する生育調査の結果をもとに6月22日頃の発行となります。